

「職業科（家庭社会）」学習指導案

1. 日時 平成26年 9 月
2. 場所 教室
3. 学部・学年 高等部 第 3 学年
4. 単元名 「学校と職場のちがいを考えよう」
5. 単元目標
 - ・学校と職場の違いについて考える。
 - ・働くことについて考え、社会人としての行動を意識する。
 - ・学校生活での課題を見直す。
6. 生徒観 略
7. 教材観

学校を卒業すると進路先は違ってもそれぞれ「働く」ことになる。一日の大半が「働く」生活になる。その職場にはそれぞれルールやマナーが存在し、学校では注意されなかったことも、職場では許されないこともたくさんある。また、ルールやマナーが守れないことで上司や先輩、同僚を不愉快な気持ちにさせてしまうこともある。学校と職場の違い、職場での最低限必要なルールやマナーを知っておくことで一緒に働く人たちとよりよい人間関係を作ることができると思う。
8. 指導観

本グループの生徒に「卒業したらどうするの？」と尋ねると全員が「働く」「仕事をする」と答えが返ってきた。以前に「暮らしに必要なお金」の単元で働くこと（仕事）について考え、「働く＝給料をもらう」というイメージを持っていることもあり、働くことに関しては意欲的に捉えている。夏休みには企業や作業所での実習も経験している。改めて、働く場所にはどのような所があるのか、みんなの希望はどのような所なのかを確認し、より具体的に働くことをイメージさせたい。また、学生と社会人とは何が変わるのか、学校と職場の違いについて考え、今現在の学校生活での課題を認識することで、卒業までの学校生活に活かすことをねらいとしたい。

9. 単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
・それぞれの進路先について関心を持ち、学校と職場の違いについて意欲的に学ぼうとしている。	・自分の進路先をイメージして具体的に考えることができる。	・振り返りシートを用いて、卒業後に向けての課題を見つけることができる。	・学校と職場の違いについて理解し、職場での最低限必要なルールやマナーを考えることができる。

10. 単元の指導と評価の計画（全3時間）

次	時	学習内容	評価規準			
			関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
第一次	70分	作業所（企業）実習の振り返り		○		
第二次	70分 本時	学校と職場の違い	○			○
第三次	70分	学校生活の中の課題見つけ			○	

11. 本時の展開

（1） 本時の目標

- ・自分の意見を意欲的に発表する。
- ・友達の発表を集中して聞く。
- ・学校と職場の違いについて理解する。

（2） 本時の評価規準

- ・自分の意見を意欲的に発表することができる。
- ・友達の発表を集中して聞くことができる。
- ・学校と職場の違いについて理解することができる。

（3） 本時で扱う教材・教具

ワークシート、プリント（ビジネスマナー・学生と社会人の違い）
作業所（企業）実習振り返りシート

（4） 児童生徒の実態と本時の目標 略

（5） 本時の学習過程

時間	学習内容・学習活動	指導上の留意点及び支援のてだて等	評価規準・評価方法
10分 導入	・教室整備 ・挨拶 ・出席確認 ・本時の説明 ・前回の内容を振り返る	・授業時間が始まる前に机を動かすように言葉かけをする。 ・全員の着席を確認して、当番の生徒を指名する。 ・はっきり返事することを促す。 ・見通しを持って取り組めるように板書する。 ・前回は振り返る。	

50分 展 開	・卒業したらどうするの？ (5分) ・進路先について考える。(10分) ・学校と職場の違いについて。(35分) - 目的 - 人間関係 - 責任 - 時間のとらえ方 - ルールやマナー	・板書し全員に向けて問い、働く意思を確認する。 ・ワークシートを配布。板書とワークシートを用いて、具体的に進路先について考えるように促す。 ・学校と職場の違いが比較できるように表にする。 ・机間支援を行い生徒の様子を確認する。	・意欲的に発言できる。(意欲) ・自分の意見を発表することができる。(意欲) ・友達の発表を集中して聞くことができる。(関心・意欲・態度) ・学校と職場の違いについて理解できる。(知識・理解)
10分 ま と め	・本時を振り返る。 ・挨拶 ・教室整備	・本時の内容を振り返り、次の学習内容を予告し、意欲を引き立てる。	

(6) 教室配置等 略

*備考

◇当該教科・領域の年間指導計画 略